

今年度の学校運営協議会がスタートしました

名寄東小学校の学校運営協議会は、昨年度5月に発足しました。本協議会の活動の様子をお伝えするために、定期的に「東小CS通信」を発行してまいります。

5月15日（水）、今年度第1回の学校運営協議会が、東小図書スペースで開催されました。今年度の始動にあたり、名寄市教育委員会教育部参事 千葉 良彦 様のご挨拶では、学校運営協議会の主な機能についてご説明がありました。

今年度の運営協議会委員は14名（右表）です。

委員の中から互選により、会長 森山 渉 様、副会長 宮越 幹男 様が選出されました。

本会議では、次の4点について、協議を行いました。

- 1 年間活動計画
- 2 「東小っ子子育てプラン」の作成
- 3 学校運営に関する基本方針の承認
- 4 学校における働き方改革の推進

《協議内容から》

1 年間活動計画

年間4回の学校運営協議会を行い、学校の取組について意見を述べたり、学校の自己評価について評価したりします。第2回協議会は8月31日の地域公開参観日に実施し、各学年の「特別の教科 道徳」の授業の参観し、「豊かな心」を育成する学校・家庭・地域の連携のあり方等について話し合います。

2 「東小っ子 子育てプラン」の作成

本協議会が、学校・家庭・地域が一堂に会する場であることを生かし、三者で育てたい子どもの姿を共有し、それぞれの役割を明確にする「子育てプラン」の作成に取り組みます。

3 学校運営に関する基本方針の承認

本校校長より今年度の学校運営の基本方針（年度の重点教育目標とそれを実現するための具体的な方策、新学習指導要領に基づく指導、本校における働き方の推進）について、説明いたしました。出席者の皆様からは、次のご意見をいただきました。

学校運営協議会の機能

- 1 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 2 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- 3 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べるができること
- 4 学校運営に必要な支援について協議すること

名寄東小学校学校運営協議会委員（敬称略）

森山 渉	五十嵐 保
朝倉 直子	渡辺 洋
田中 和秋	宮越 幹男
秋元 忠行	品地 信一
吉川 一茶	石橋 清二
八島 弘恵	石橋 毅
加藤千恵子	間所 智洋

（学校関係者）

野村 智明（校長）	大熊 隆子（教頭）
中谷 健太（教諭）	中嶋清太郎（教諭）
前畑 孝明（事務職員）	

- 東小の校区には、豊富な教育資源がある。人的・物的資源を生かして教育活動を進めてほしい。社会に生かせる力を身に付けるには、子どもたちが学校から出て地域社会に働きかけるような活動も大切だと思う。
- 教育と福祉・医療が連携して子どもに学びの場を設けることもこれからは大切だと思う。（例：特別養護老人ホーム清峰園との連携など）
- 地域に子どもがいることは、地域にとってもそこに住む者にとっても幸せなことだと感じている。



4 学校における働き方改革の推進

文部科学省が作成した「学校の働き方改革」プロモーションビデオを視聴し、委員が3つのグループに分かれ、感想や意見の交流を行いました。

第1グループ

○日本では教員が担う仕事は多岐にわたる。外国のように子どもの指導のみ従事できるようになるとよい。

○部活動は教員ではない専門家が指導にあたっているところもある。地域で担うことができるようになるとうい。

○地域の活動も持続が難しくなっている。町内会自体も消滅の危機。運営協議会の活動を切り口に、地域の活性化にもつながるとよい。



第2グループ

○働き方改革について、教職員は実情を把握し何が問題なのかも分かっているかもしれない。地域・保護者の目からは学校で起きていることが分かりにくいので、学校を支援するための手立てを提案しにくい。

○地域のボランティアの活動だけで、大きな効果を生む力となるとは思えない。国が具体的なガイドラインを示したり制度を整えたりしていくことも大切だと思う。

○ビデオから「教職員が子どもと向き合う時間を確保すること」の大切さが分かった。運営協議会としてどんなことができるのか。教職員がどんなことを望んでいるのかが分かれば、具体的な方策も見えてくるのではなかろうか。

第3グループ

○ビデオから、思っていた以上に学校は大変だと知ることができた。

○連休中の部活動は、教員だけでなく、子どもや親にとっても負担なのは…。親子の計画を立てることができない。部活動や少年団の大会では、早朝から集合することが多い。大会関係者の理解も必要だと思う。

○民間企業では、年休取得の義務化が始まった。学校も、子どもがいても教職員が休める体制づくりができるとうい。

いただいたご意見を踏まえて、学校と地域・家庭の連携を前進させることができるよう努めてまいります。